

● 編集後記

桜の開花が年々早くなり東京では3月下旬に満開になりました。ずいぶん早くなったものだと感心してはいられない気持ちです。いったい地球は大丈夫なのかと問うてみたいのです。私にとって早くなったと感じるのは、単なる感覚ではなくエビデンスがあるのです。それは私の誕生日が4月14日だからです。小学校の頃(今から40数年前?)は、誕生日に桜が満開でした。私の場合は地球の温暖化がこのようなことで感じられるのです。昔と同じ時期に開花を迎えるためには、北に移動するしかありません。

東北あたり移住すれば子供の頃の季節感と一致することになります。

桜の木はどこから春の情報を得ているのでしょうか。我々の社会もこのように環境に素早く順応した情報収集が求められています。しかしコンピュータネットワークの急速な進展は情報漏洩やコンピュータウイルスなど新たな問題を引き起こしています。

ユビキタスという言葉がありますが、これはどこからでもアクセス可能な環境という意味だそうです。将来ユビキタス社会になるといわれていますが便利になる反面、未知なる危険を伴っています。デジタル化はいったいどこまで進むのでしょうか。桜を見ながらアナログの良さをもう一度考える今日この頃です。 (編集委員 上村直樹)